

さいと 市議会だより



6月から試験運転中の県央14市町村の広域ごみ処理施設

『エコクリーンプラザみやざき』・・・〔宮崎市大瀬町〕

四月臨時会の概要

平成十七年第二回臨時会は四月二十七日に招集、農業委員会の選挙による委員の定数条例の一部改正などの市長提出議案七件の審議が行われ、いずれも承認、可決されました。

六月定例会の概要

平成十七年第三回定例会は六月六日に招集、二十四日までの会期で行われ、平成十七年度西都市一般会計予算補正（第一号）などの市長提出議案十七件、地方議会制度の充実強化に関する意見書（案）などの議員提出議案六件、請願二件及び陳情四件の審議を行いました。

審議の結果、議案十七件中、三件を同意、一件を適任、十三件を原案可決とし、請願二件を採択、陳情四件中、一件を採択、一件を不採択、一件を継続審査、一件を撤回とすることが承認されました。
一般質問では、十四名の議員が登壇し、市政に対する質問を行いました。

主な掲載内容

勤続表彰・・・P 2	請願・陳情の審査結果
議案審議結果・・・P 2	・・・P 6
一般質問・・・P 3	可決された意見書
訃報・・・P 5	・・・P 6

勤続表彰

このほど、横山昭雄議員、池沢正博議員、橋口定幸議員が議員十五年勤続の功労により全国市議会議長会から表彰されました。

《横山昭雄議員》

昭和九年生まれ。平成一年四月初当選。以後四期連続当選。

この間、産業経済常任委員長、東九州自動車道対策調査特別委員長などを歴任。現副議長。



《池沢正博議員》

昭和十年生まれ。平成一年四月初当選。以後四期連続当選。

この間、議長、議会運営委員長、産業経済常任委員長などを歴任。



《橋口定幸議員》
昭和十年生まれ。平成一年四月初当選。以後四期連続当選。

この間、議会運営委員長、新田原基地対策調査特別委員長などを歴任。現議長。



議案審議結果

第一回臨時会(四月)・第二回定例会(六月)で審議された議案の概要と結果

全会一致で可決
賛成多数で可決

人事案件

* 定例会 *

監査委員の選任について

(杉原三義氏 新任)

教育委員会委員の任命について

(三ヶ尻茂樹氏 新任)

人権擁護委員候補者の推薦について

(中武寛氏 再任)

条例関係

* 臨時会 *

専決処分承認を求めることについて(西都市市税条例の一部改正)

西都市農業委員会の選挙による委員の定数条例の一部改正について(農業委員会委員の定数見直しに伴う改正)

* 定例会 *

西都市常勤の特別職職員給与の特例に関する条例の制定について(市長・助役・収入役の給料を市長の任期期間に限り減額するもの)

西都市教育長の給与の特例に関する条例の制定について(教育長の給料を市長の任期期間に限り減額するもの)

西都市乳幼児医療費の助成に関する条例の一部改正について(医療費助成の対象を拡大し、一部負担金相当額からの控除額を変更するなどの改正)

西都市国民健康保険税条例の一部改正について(予算に見合う賦課を行なうための改正)

西都市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正について(消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の改正に伴う改正)

西都市火災予防条例の一部改正について(消防法等の改正

に伴う改正)
西都市文化財保護条例の一部改正について(文化財保護法の改正に伴う改正)

予算関係

* 臨時会 *

専決処分の承認を求めることについて(平成十六年度西都市一般会計予算補正第九号)

専決処分の承認を求めることについて(平成十六年度西都市国民健康保険事業特別会計予算補正第五号)

専決処分の承認を求めることについて(平成十六年度西都市老人保健特別会計予算補正第五号)

専決処分の承認を求めることについて(平成十六年度西都市介護保険事業特別会計予算補正第四号)

* 定例会 *

平成十七年度西都市一般会計予算補正(第一号)について(農林水産業費など総額十二億四千八百八十万二千円の増額)

平成十七年度西都市国民健康保険事業特別会計予算補正(第二号)について(保険給付費など総額八百七十五万五千円の減額)

平成十七年度西都市簡易水道事業特別会計予算補正(第一

号)について(施設費に五百万円増額)

平成十七年度西都市営住宅事業特別会計予算補正(第一号)について(住宅費に四千五百一万円の増額)

平成十七年度西都市老人保健特別会計予算補正(第一号)について(償還金に六百二十万円の増額)

その他

* 臨時会 *

土地の取得について(誘致企業の工場建設用地として西都市土地開発公社から取得するもの)

* 定例会 *

市有財産の処分及び無償譲渡について(誘致企業の工場建設用地として市有財産を処分及び無償譲渡するもの)

報告案件

* 定例会 *

繰越明許費に係る歳出予算の繰越計算について(平成十六年度西都市一般会計の繰越明許費)
西都市土地開発公社の経営状況について

一般質問

六月十三・十四・十五日に十四名の議員が登壇し、市長の政治姿勢をはじめ市政全般にわたって質問を行いました。

三位一体改革と本市の財政改革の取り組みは

政友会 浜砂一郎

問 国の三位一体改革についての所見を伺いたい。

答 国と地方の財政関係についての税源移譲の論議が、国庫補助負担金の廃止や縮減、地方交付税の抑制等として、三位一体改革に至っていると考える。

問 三位一体改革による本市の財政に与える影響について伺いたい。

答 国庫補助負担金等の削減により、歳入総額が減少し、厳しい財政運営を迫られるものと考ええる。

問 本市の新任財政改革大綱策定の状況について伺いたい。

答 五月に市長を本部長とする行政改革推進本部及びワーキンググループを発足させ、検討を始めている。民間からなる推進委員会を設け、十月頃までに概要をまとめ、平成十八年一

月のパブリックコメントを経て大綱を策定し、四月から実施する予定である。

パブリックコメント 基本的な政策の策定に当たり、事前に内容を公表して市民から意見を募集し、それを政策の決定に反映させるとともに、提出された意見とそれに対する市の考え方を公表する一連の手続きのこと。

高い国保税の引き下げを

日本共産党 狩野保夫

問 平成十七年度の国保税は、平均で、世帯当たり二万六百元、一人当たり一万二百円の増税になる。市長就任の年に大幅増税されることについて見解を伺いたい。

答 今回の国保税増額は、被保険者、市の国保財政運用状況を踏まえて行ったものであり、ご理解をいただきたい。

問 衆参両院が憲法調査会報告書を提出する等、憲法改正議論が行われていることについて見解を伺いたい。

答 改憲を決めるのは国民投票であり、国民の関心と理解がどれだけ深まるかが課題であると考えている。

問 退任される黒木教育長に、本市教育行政について見解を伺いたい。

答 たくましい体、豊かな心優れた知性をそなえた、心身ともに調和のとれた人間の育成を目指した教育行政が推進されることをぞんじている。

市道西都原総合台線の改良拡幅について

政信会 池田明男

問 畜産糞尿処理施設について、市長の見解は。

答 家畜排せつ物の規制対象農家戸数は百三十三戸であるが、うち四戸が未整備のため、早急に指導したい。耕畜連携は農業の基本である土づくりを推進することが本市農業の生産性向上と食に対する安全、安心の確保につながる。そのため新規事業として環境保全型農業確立対策事業の予算を計上しており、今後協議会を設立して実施したい。

問 市道都都郡線清水橋の規制について、市長の見解は。

答 築後数十年が経過しており、耐久性、耐震性について詳細調査した結果、現行の基準をクリアしない部分があるため、規制を継続し、橋梁架け替えを

視野に入れ、今後検討する。

問 市道西都原総合台線の改良拡幅について、市長の見解は。

答 当路線は、最重要路線と位置づけ、整備計画を立案すべく担当課に指示している。

市長の政治姿勢について

市民クラブ 浜砂松生

問 西都市における市長の位置づけについて、どのように考えておられるか伺いたい。

答 市長は、西都市の行政の事務を管理しこれを執行する機関であると位置づけ、市を統轄し、市を代表する立場にあると考えている。

問 各種会合等におけるあいさつ、または発言について、その真意を伺いたい。

答 このことについては、一部取り違いもあるが、配慮不足による慎重さを欠いた発言もあったので、今後は市長としての自覚を持って発言には十分留意して参りたい。

問 市役所職員の始業前の朝礼について伺いたい。

答 始業時間前の朝礼は、これに参加することが暗黙の指示

による場合でも労働基準法上の労働時間に当たるとは理解している。

協働型社会の確立と地域経営システムについて

新政 井上昭也

問 市政運営の基本理念を伺いたい。

答 市民が創意工夫によって夢や目標が実現する環境をつくり、管理型行政から地域経営型行政への転換で改革と再生を図っていく。

問 協働型社会の確立には積極的な情報公開が第一である。早急に施政方針を市民に公開すべきである。

答 六月十五日発行の回覧文書で公表することにした。

問 住民自治の新たな拠点に、校区毎の「地域自治区」の設定は考えられないか。

答 現時点では考えていないが、行政改革や再生プランの中で専門部会を設けて検討する。

問 見直し策定中の「行政改革大綱」の公表はいつか。

答 本年度末までに公表する。

問 旧六ヶ町村に設置してある「支所」の機能拡充を。
答 行政改革の中で検討していく。

農業行政と

水害対策について

新政敵 河野方州

問 安全・安心システムの確立などによる質の高い食糧供給基地づくりについて伺いたい。
答 有機物投入による土づくり、農産物の残留農薬分析トレーサビリティシステムの徹底と充実を、JAの優心館と図っていくものである。

トレーサビリティ 食品の仕入先、販売先、生産・製造方法などの記録をとり、保管し食品とその情報を追跡し、さかのぼることが可能になる。

問 新設の市農業フロンティア奨励賞について伺いたい。
答 農家の生産意欲を高めるため、新たな生産技術、品種、生産システム、営農体制の導入開発など、西都市の農業振興発展に寄与した人や団体等を表彰するものである。

問 坂の下川の排水対策と新設の小規模排水ポンプ購入

費補助制度について伺いたい。
答 坂の下川の排水対策は難しいが、過去に浸水被害にあったハウス農家を対象に、口径八十三リメートルの排水ポンプを一戸に一台、購入費の三分の二（上限額七万五千円）を補助するものである。

行政改革と

観光政策について

政友会 井上司

問 関連している課を同じところに並べて置けないか。
答 関連している課は統合した方がいいと思うが、庁舎構造上の問題等もある。今後、機構改革と併せて検討したい。

問 西都原を活かした観光対策は。
答 観光客の誘致、宣伝が重要な課題であるので、観光協会と行政が緊密な連携を取り、積極的な誘致・宣伝活動を図りたい。

問 グリーンツーリズムを活かした取り組みは。
答 本市の自然環境や農業を活かした体験等によるグリーンツーリズム活動が活発化すれば定住人口確保の手段になり得るので、今後とも積極的に取り組みたい。

問 坂の下川の排水対策と新設の小規模排水ポンプ購入

グリーンツーリズム 農林漁業体験やその地域の自然や文化に触れ、地元の人々との交流を楽しむ旅のこと。

問 秋の高校駅伝コースをコスモスの花で彩ることは。
答 行政だけでなく、市民協働による市民運動の気運の盛り上がりが必要である。気運の醸成を図りつつ、花の西都をイメージさせるためにも花の植栽について研究したい。

問 秋の高校駅伝コースをコスモスの花で彩ることは。
答 行政だけでなく、市民協働による市民運動の気運の盛り上がりが必要である。気運の醸成を図りつつ、花の西都をイメージさせるためにも花の植栽について研究したい。

橋田市長の

政治姿勢について

新政敵 緒方敦男

問 橋田市長の施政方針にある「西都市を覆っている閉塞感」とはどのようなことを指しているのか、具体的に説明願いたい。
答 日本の社会経済は、少子高齢化等人口構造の変化と複雑に絡み合っており、財政、社会保障、教育、地域経済等の課題に対応しきれずに問題となっている。本市でも、市民の生活が年々厳しくなっており、将来に夢や展望が持てない状況が続いているのを閉塞感と表現した。民の力が発揮される社会実現のもと、再生フロンにより魅力ある元気なふるさとをつくっていく。

問 橋田市長の施政方針にある「西都市を覆っている閉塞感」とはどのようなことを指しているのか、具体的に説明願いたい。

問 市町村合併では三月議会と比べて、宮崎市も視野に入れているが加わったが、真意は。
答 児湯地域との合併を主体に十万人都市を目指す。また、議会が宮崎市と協議をされていた経緯があるので、宮崎市も視野に入れることにした。

公明党 吉野元近

バリアフリーでやさしい街づくり対策を図れ

問 市庁舎の階段や段差は高齢者や障害者にとつて大変つらい。庁舎北側へのエレベーター設置をも含めて、早い対策を図るべきだ。
答 階段等に手すりの補強をしたい。エレベーターに関しては庁舎構造上の問題等があり、今後十分に検討したい。

問 障害者トイレ（オストメイト対応）の設置について伺いたい。
答 現在本庁舎の西入り口にある車椅子用トイレをオストメイト対応トイレにできないか、十分に検討したい。

問 障害者トイレ（オストメイト対応）の設置について伺いたい。

問 道路のバリアフリーについて今後の計画を伺いたい。
答 安全な歩行空間形成に向けて八路線を順次整備していく考えである。

問 教育現場における車椅子用トイレの設置について伺いたい。
答 必要性等を十分調査し、児童生徒が利用しやすい、やさしい施設の改善に努めていきたい。

商店街の再生と中学校歴史教科書問題について

新政敵 内藤邦弘

問 市長は商工業の支援策について従来通りの継続事業しか示されていないが、具体的な「商店街再生プラン」は。
答 補助金ありきの事業は改める。自らも資金をまかなうなど、自助努力を行なう場合に対しての支援制度や、地域を指定しての空き店舗対策等を考えていく。また、長期的な施策になるが、桜川の改修計画とも絡め検討していく。

問 中学校における歴史教育は、単に歴史を知ることだけでなく、自分の生まれた日本

の成り立ちや日本人としての誇り、郷土愛、先人を敬つ心を養うための基礎となるものと考ええる。教育長は、歴史教育と教科書問題をどう認識しているのか。

答 現在「教科用図書再編協議会」で協議中なので意見は差し控えたい。同協議会で慎重に協議され、教育委員会が採択することになる。

**生活雑排水対策と
少子化対策について**

政友会 吉野和博

問 新制度に伴う生活雑排水対策について伺いたい。

答 公共下水道事業は、妻北地区を平成十六年度から五ヶ年計画で進めており、現状どおり補助金で整備していく。今後は瀬口地区を認可地区として整備する計画。計画立案時点で汚水処理施設整備交付金を検討するのが適切と考ええる。浄化槽設置整備事業は、平成十七年度から一部循環型社会形成推進交付金により事業実施する。

問 少子化が進む中で西都市の対策を伺いたい。

答 西都市次世代育成支援行動計画を策定したところであり、計画の推進に努めて参りた

い。

問 西都市の子育て関係予算について伺いたい。

答 平成十六年度の決算見込み総額において、社会保障関係は約百三十六億三千万円である。うち、子育て関係は約十五億八千万円であり、占める割合は十一・六パーセントになる。

**市民が主役、市民協働の
具体的推進策について**

政友会 新名美穂子

問 行政に対する市民の関心の現状と、市民が主役の市民協働のまちづくりの進め方の具体的対策を伺いたい。

答 市民への情報の公開と提供を行い、行政はコーディネーターの役割を果たす。市民協働を進める最大の課題は人材育成。具体的対策は、行財政改革や再生プランの中で検討する。

問 プラン策定を市民参加で行うことが行政に対する関心を高めると共に人材育成の良い機会になるのではないか。

答 プラン策定は期限もあり現時点では早い段階からの市民参加は望めない。原案作成後に市民の意見を求める。

問 市町村合併問題は、まちの将来を市民全員で検討する良い機会。市民参加の合併協議を至急始めていただきたい。

答 児湯地域との合併に向け努力する。方向性が出た段階で座談会等を計画する。

無党派 中野勝

小学校の余裕教室を学童保育に活用してはどうか

問 西都原台地と清水台地を結ぶ構想について伺いたい。

答 西都原台地と清水台地を結ぶ道路は重要連絡道路として位置づけ、今後整備していく。

問 西都原台地と清水台地を吊橋で結ぶ事で観光客が倍増し相乗効果も上がると思いますが。

答 今のところ吊橋の事は考えていないが、道路の整備を行っていく。

問 現在各小学校に余裕教室があり、この余裕教室を利用して学童保育に活用すべきだ。

答 各小学校の実態を考慮しながら、用途変更が可能かを含めて、今後研究して参りたい。

問 全児童数九百七十五名の内、現在二百五十四名が学童

保育を受けている。希望者全員が学童保育を受けられる様な対策を。

答 放課後児童健全育成事業として順次整備を進め、学童保育に対応できるように努める。

問 広報誌全体の見直しを。経費を削減し内容の充実を図り、情報の提供に努める。

**将来に視点をのこした
行政運営を**

市民クラブ 野村隆志

問 厳しい財政状況の下で市民との協働を唱えられているが、まず役所の中が見える合理化をしなければ市民は協力しない。百人以上の人員削減、五億円の人員削減を公約されたが、今の枠組みで実現することは極めて困難だが、どう考えているのか。

答 市長になって困難な状況が判った。行政改革推進本部で検討する。

問 児湯郡との合併を公約されているが、現在の状況の上だけに立って物事を考えているのではないか。今日まで日本の人口は増加していたのに西都児湯は減少してきた。支えられる人や介護される人はかり増え、支える人や介護する人

がいなくなるが予想される地域と合併すれば高齢者対策は維持できなくなる。宮崎との検討が必要ではないか。

答 公約どおり、まず児湯郡との検討を行う。

訃報

故 清水 義光 氏

西都市大字石松(大口川)
【議員歴】 昭和二十六年四月西都町議会議員初当選、以来昭和六十一年四月まで十期連続当選(昭和三十三年十一月一日市制施行)。この間、議長、総務常任委員長などを歴任。
平成十七年七月五日逝去
(享年九十八才)



